

保健学科教育学修プログラム

看護学専攻

令和5年度後期

1年次

【米子地区授業時間】

1時限	: 8:40 ~ 10:10
2時限	: 10:30 ~ 12:00
3時限	: 13:00 ~ 14:30
4時限	: 14:50 ~ 16:20
5時限	: 16:40 ~ 18:10

【鳥取地区授業時間】

1時限	: 8:45 ~ 10:15
2時限	: 10:30 ~ 12:00
3時限	: 13:00 ~ 14:30
4時限	: 14:45 ~ 16:15
5時限	: 16:30 ~ 18:00

令和5年度 授業時間配当表(保健学科看護学専攻1年次)

		前 期									
		前半(8)					後半(8)				
		月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
1	主題:保健医療概論			コミュニケーション英語A	教養科目	教養科目	主題:保健医療概論		コミュニケーション英語A	教養科目	教養科目
2	人体の構造と機能Ⅰ	教養科目(人文・社会)	教養科目(人文・社会)	人体の構造と機能Ⅱ	基礎看護学	基礎看護学	人体の構造と機能Ⅰ	教養科目(人文・社会)	教養科目(人文・社会)	人体の構造と機能Ⅱ	基礎看護学
3	教養科目	主題:発達心理学	基幹:生命倫理	キャリア入門	情報リテラシ	情報リテラシ	教養科目	主題:発達心理学	基幹:生命倫理	キャリア入門	情報リテラシ
4	人間発達と健康論	独/仏/中/韓		健康スポーツ科学実技	コミュニケーション英語B	コミュニケーション英語B	人間発達と健康論	独/仏/中/韓		健康スポーツ科学実技	コミュニケーション英語B
5			教養科目	教養科目					教養科目	教養科目	

		後 期									
		前半(8)					後半(8)				
		月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
1	主題:社会福祉			実践英語B		健康生活支援実習	主題:社会福祉		実践英語B		健康生活支援実習
2	教養科目(人文・社会)/自然分野:物理学(物理学入門Ⅱ)	教養科目(人文・社会)	教養科目(人文・社会)	教養科目(人文・社会)/自然分野:化学(化学C)	コミュニケーション法	健康生活支援実習	教養科目(人文・社会)/自然分野:物理学(物理学入門Ⅱ)	教養科目(人文・社会)	教養科目(人文・社会)/自然分野:化学(化学C)	公衆衛生看護学Ⅰ	健康生活支援実習
3	教養科目/物理学実験演習	栄養と代謝	化学実験演習	生活援助論演習Ⅰ	看護実践過程基盤演習	看護実践過程基盤演習	教養科目/物理学実験演習	栄養と代謝	化学実験演習	生活援助論演習Ⅰ	看護実践過程基盤演習
4	物理学実験演習	独/仏/中/韓	化学実験演習	生活援助論演習Ⅰ	人体の構造と機能Ⅲ	人体の構造と機能Ⅲ	物理学実験演習	独/仏/中/韓	化学実験演習	生活援助論演習Ⅰ	研究成果活用法
5		実践英語A	教養科目	特別講義Ⅰ				実践英語A	教養科目		

生命・検査との合同講義

検査との合同講義

令和5年度 学年暦七曜表

(鳥取地区)

		前 期						
		日	月	火	水	木	金	土
4月								1
		2	3	4	5	6	7	8
		9	10	11	12	13	14	15
		16	17	18	19	20	21	22
		23	24	25	26	27	28	29
	30							
5月			1	2	3	4	5	6
		7	8	9	10	11	12	13
		14	15	16	17	18	19	20
		21	22	23	24	25	26	27
		28	29	30	31			
6月					1	2	3	
		4	5	6	7	8	9	10
		11	12	13	14	15	16	17
		18	19	20	21	22	23	24
		25	26	27	28	29	30	
7月								1
		2	3	4	5	6	7	8
		9	10	11	12	13	14	15
		16	17	18	19	20	21	22
		23	24	25	26	27	28	29
	30	31						
8月				1	2	3	4	5
		6	7	8	9	10	11	12
		13	14	15	16	17	18	19
		20	21	22	23	24	25	26
		27	28	29	30	31		
9月								1
		2	3	4	5	6	7	8
		9	10	11	12	13	14	15
		16	17	18	19	20	21	22
		23	24	25	26	27	28	29
	30							

		後 期						
		日	月	火	水	木	金	土
10月		1	2	3	4	5	6	7
		8	9	10	11	12	13	14
		15	16	17	18	19	20	21
		22	23	24	25	26	27	28
		29	30	31				
11月					1	2	3	4
		5	6	7	8	9	10	11
		12	13	14	15	16	17	18
		19	20	21	22	23	24	25
		26	27	28	29	30		
12月							1	2
		3	4	5	6	7	8	9
		10	11	12	13	14	15	16
		17	18	19	20	21	22	23
		24	25	26	27	28	29	30
	31							
1月			1	2	3	4	5	6
		7	8	9	10	11	12	13
		14	15	16	17	18	19	20
		21	22	23	24	25	26	27
		28	29	30	31			
2月						1	2	3
		4	5	6	7	8	9	10
		11	12	13	14	15	16	17
		18	19	20	21	22	23	24
		25	26	27	28	29		
3月							1	2
		3	4	5	6	7	8	9
		10	11	12	13	14	15	16
		17	18	19	20	21	22	23
		24	25	26	27	28	29	30
	31							

前期セメスター授業期間(4/10~8/8)

後期セメスター授業期間(10/2~2/9)

第1Q(4/10~6/9)

第2Q(6/12~8/8)

第3Q(10/2~11/30)

第4Q(12/1~2/9)

振替授業日

予備日(予備日は、気象警報の発令等により休講となった授業等の実施にあてゑる。)

【令和5年度試験期間:参考】

学期	試験期間	対象科目
前期	6月2日(金)~6月8日(木)	第1Q科目
	8月1日(火)~8月7日(月)	前期セメスター科目・第2Q科目
後期	11月22日(水)~11月29日(水)	第3Q科目
	2月1日(木)~2月8日(木)	後期セメスター科目・第4Q科目

保健学科看護学専攻1年次目次

後期

	区分	授業科目名	
必修	専門科目	栄養と代謝 5
必修	専門科目	コミュニケーション法 6
選必	専門科目	人体の構造と機能Ⅲ 7
必修	専門科目	公衆衛生看護学Ⅰ 8
必修	専門科目	看護実践過程基盤演習 9
必修	専門科目	生活援助論演習Ⅰ 10 ~ 11
必修	専門科目	健康生活支援実習 12 ~ 13
必修	専門科目	研究成果活用法 14
選択	専門科目	特別講義Ⅰ 15

授業のレベルについて

- 1: 入門及び初級レベル
- 2: 中級レベル(基礎科目)
- 3: 中級～上級レベル(応用科目)
- 4: 上級レベル(発展科目)
- 5: 大学院レベル

栄養と代謝

到達目標: 生体構成分子を化学的に理解するとともに、糖質、たんぱく質、脂質の消化、吸収および細胞内代謝を理解する。

科目責任者(所属): 片岡 英幸(成人・老人看護学)

連絡先: hkataoka☆tottori-u.ac.jp

回数	月日	時限	講義室	対面可 授業方法	対面不可 授業方法	授業内容	担当者	講座・ 分野・診療科	予習・復習内容	授業のキーワード
1	10/3(火)	3	A20	対面	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	生化学と栄養の概要	上田 悦子	生体制御学	栄養生化学の概要に関する確認問題を解き、その内容を理解する。	栄養素、日本人の食事摂取基準、ライフステージと栄養、生体分子
2	10/10(火)	3	A20	対面	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	アミノ酸、タンパク質	上田 悦子	生体制御学	予習:教科書のアミノ酸、タンパク質に関する箇所を読んでおく。 復習:確認問題でその内容を理解する。	アミノ酸、両性イオン、等電点、ペプチド結合、一次構造、二次構造、 α ヘリックス、 β 構造、三次構造、四次構造、変性
3	10/17(火)	3	A20	対面	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	酵素	上田 悦子	生体制御学	予習:教科書の酵素に関する箇所を読んでおく。 復習:確認問題でその内容を理解する。	酵素活性、基質、反応速度、補酵素、補因子、ミカリス定数、競合阻害、非競合阻害、不競合阻害、アロステリック酵素、アイソザイム
4	10/24(火)	3	A20	対面	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	糖質	上田 悦子	生体制御学	予習:教科書の糖質に関する箇所を読んでおく。 復習:確認問題でその内容を理解する。	単糖類、オリゴ糖類、多糖類、異性体、誘導体、グルコサミノグリカン、プロテオグリカン
5	11/7(火)	3	A20	対面	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	脂質	上田 悦子	生体制御学	予習:教科書の脂質に関する箇所を読んでおく。 復習:確認問題でその内容を理解する。	単純脂質、複合脂質、飽和脂肪酸、不飽和脂肪酸、過酸化脂質、トリアシルグリセロール、リン脂質、ステロイド、リポタンパク質
6	11/14(火)	3	A20	対面	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	生体膜	上田 悦子	生体制御学	予習:教科書の生体膜に関する箇所を読んでおく。 復習:確認問題でその内容を理解する。	生体膜、脂質二重層、リン脂質、エンドサイトーシス、エキソサイトーシス、受動輸送、能動輸送、受容体
7	11/21(火)	3	A20	対面	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	核酸	上田 悦子	生体制御学	予習:教科書の核酸に関する箇所を読んでおく。 復習:確認問題でその内容を理解する。	ヌクレオチド、ヌクレオチド、リボース、デオキシリボース、DNA、mRNA、tRNA、rRNA、塩基対
8	11/28(火)	3	A20	対面	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	ビタミン、無機質	上田 悦子	生体制御学	予習:教科書のビタミン、無機質に関する箇所を読んでおく。 復習:確認問題でその内容を理解する。	ビタミンA、ビタミンD、ビタミンE、ビタミンK、ビタミンB群、ビタミンC、過剰症、欠乏症、主要無機質、微量元素
9	12/5(火)	3	A20	対面	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	エネルギー代謝	上田 悦子	生体制御学	予習:教科書のエネルギー代謝に関する箇所を読んでおく。 復習:確認問題でその内容を理解する。	高エネルギー化合物、ミトコンドリア電子伝達系、酸化的リン酸化、酸化還元酵素、活性酸素、酸素ラジカスカベンジャー
10	12/12(火)	3	A20	対面	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	糖の代謝	片岡 英幸	成人・老人看護学	糖の代謝について予習する。配付資料の範囲を復習する。	解糖系、クエン酸回路、糖新生、ペントースリン酸回路
11	12/19(火)	3	A20	対面	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	脂質の代謝	片岡 英幸	成人・老人看護学	脂質の代謝について予習する。配付資料の範囲を復習する。	脂蛋白、コレステロール、脂肪酸、 β 酸化、リン脂質
12	1/9(火)	3	A20	対面	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	アミノ酸の代謝	片岡 英幸	成人・老人看護学	アミノ酸の代謝について予習する。配付資料の範囲を復習する。	アミノ酸、脱アミノ、尿素回路
13	1/16(火)	3	A20	対面	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	核酸の代謝、DNA複製、修復	片岡 英幸	成人・老人看護学	核酸の代謝、染色体と遺伝情報、DNA複製、修復について予習する。配付資料の範囲を復習する。	プリン環、ピリミジン環、de novo合成、サルベージ経路
14	1/23(火)	3	A20	対面	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	転写、翻訳、タンパク質の合成	片岡 英幸	成人・老人看護学	転写、翻訳、タンパク質の合成、遺伝子発現の調節について予習する。配付資料の範囲を復習する。	転写、翻訳、タンパク質合成
15	1/30(火)	3	A20	対面	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	まとめ	片岡 英幸	成人・老人看護学	栄養と代謝全般について理解する。	栄養と代謝全般

教育ブランドデザインとの関連:2、3

学位授与の方針との関連:1

授業のレベル:2

評価:定期試験の結果により評価する。

各担当者が出題し、それぞれの配点は担当時間に比例するよう配分する。

実務経験との関連:臨床経験のある医師がその経験を活かし、専門分野に関する講義を行う

教科書:1. 生化学(新スタンダード栄養・食物シリーズ)(東京化学同人)

参考書:1. シンプル生化学(南江堂) 2. はじめの一步の生化学・分子生物学(羊土社) 3. 基礎からしっかり学ぶ生化学(羊土社)

コミュニケーション法

到達目標:コミュニケーションの理論とその実践的な活用方法を身につける。

科目責任者(所属):細田 珠希(臨床心理学)

連絡先:t.hosoda.urban@tottori-u.ac.jp

回数	月日	時限	講義室	対面可 授業方法	対面不可 授業方法	授業内容	担当者	講座 ・分野・診療	予習・復習内容	授業のキーワード
1	10/5(木)	2	111	対面	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	オリエンテーション、コミュニケーションとは	細田 珠希	臨床心理学	予習・復習:オリエンテーション、コミュニケーションとは、言語的・非言語的コミュニケーション	言語的・非言語的コミュニケーション、やりとりと交換
2	10/5(木)	4	111	対面	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	コミュニケーションと脳と身体と心	細田 珠希	臨床心理学	予習・復習:コミュニケーションと脳と身体と心	脳、身体、生理的反応、心、ストレス
3	10/5(木)	5	111	対面	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	コミュニケーションを阻む要素、コミュニケーションと感情	細田 珠希	臨床心理学	予習・復習:コミュニケーションを阻む要素、コミュニケーションと感情、共感性、心の理論、メタ認知	情報伝達とメッセージ、システム、対人関係、感情・思考・行動のつながり、感情の特定化、共感性、心の理論、メタ認知
4	10/12(木)	2	111	対面	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	コミュニケーションにおける自己・他者理解、文化と価値観	細田 珠希	臨床心理学	予習・復習:感情のコントロール、自己・他者理解、文化と価値観がコミュニケーションに与える影響	感情のコントロール、自己・他者理解、文化と価値観
5	10/19(木)	2	111	対面	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	さまざまなコミュニケーションスキル	細田 珠希	臨床心理学	予習・復習:さまざまなコミュニケーションスキル(傾聴、質問、受容、バリデーション)	傾聴、質問、受容、バリデーション
6	10/26(木)	2	111	対面	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	コミュニケーションと自己受容、有効な表現方法	細田 珠希	臨床心理学	予習・復習:自己受容、セルフバリデーション、ジャッジメント、有効な表現	自己受容、セルフバリデーション、ジャッジメント、有効な表現
7	11/9(木)	2	111	対面	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	困難な場面でのコミュニケーション	細田 珠希	臨床心理学	予習・復習:困難な場面でのコミュニケーション(イステートメント、交渉する、断る、パーソナリティ障害)	イステートメント、交渉する、断る、パーソナリティ障害
8	11/16(木)	2	111	対面	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	医療におけるコミュニケーション、まとめ	細田 珠希	臨床心理学	予習・復習:医療におけるコミュニケーション、困難な場面での患者とのコミュニケーション、まとめ	医療におけるコミュニケーション、うつ病、攻撃性、バッドニュースを伝える

教育グランドデザインとの関連:2, 4

学位授与の方針との関連:3, 4

授業のレベル:2

評価:毎回授業後の小テスト(50%), 課題レポート(50%)

実務経験との関連:心理相談の実務経験のある教員が、コミュニケーション法の講義を行う。

教科書:なし。適宜関連資料を配布。

人体の構造と機能Ⅲ

科目到達目標: 発生学的視点から人体の構造について学ぶ。

科目責任者(所属): 森 徹自(生体制御学)

連絡先: E-mail: mori-t@tottori-u.ac.jp

回数	月日	時限	講義室	対面可 授業方法	対面不可 授業方法	授業内容	担当者	講座・ 分野・診療科	予習・復習内容	授業のキーワード
1	10/6(金)	4	111	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	呼吸	二宮 治明	生体制御学	予習として「N教授の生理学講義ノート」の該当部分を熟読すること。復習として講義内容の概要・ポイント等をノートにまとめること。	気道、肺、ガスの運搬
2	10/13(金)	4	111	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	血液	二宮 治明	生体制御学	予習として「N教授の生理学講義ノート」の該当部分を熟読すること。復習として講義内容の概要・ポイント等をノートにまとめること。	血漿、赤血球、白血球、血小板
3	10/20(金)	4	111	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	腎臓	二宮 治明	生体制御学	予習として「N教授の生理学講義ノート」の該当部分を熟読すること。復習として講義内容の概要・ポイント等をノートにまとめること。	糸球体ろ過、尿細管再吸収・分泌
4	10/27(金)	4	111	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	体液	二宮 治明	生体制御学	予習として「N教授の生理学講義ノート」の該当部分を熟読すること。復習として講義内容の概要・ポイント等をノートにまとめること。	水、電解質、酸塩基平衡
5	10/31(火)	4	湖山 (C51)	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	発生学総論1	森 徹自	生体制御学	受精から出産までの出来事を調べて、要点をノートにまとめて予習をする。(1時間)	細胞分裂、着床
6	11/10(金)	4	111	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	発生学総論2	森 徹自	生体制御学	発生第三週以降の出来事を調べて、要点をノートにまとめて予習をする。(1時間)	外胚葉、中胚葉、内胚葉、先天異常
7	11/17(金)	4	111	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	心臓と頭頸部の発生	森 徹自	生体制御学	心臓と頭頸部の発生を調べて、要点をノートにまとめて予習をする。(1時間)	心臓ループ
8	1/18(木)	5	111	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	泌尿生殖器系の発生とまとめ	森 徹自	生体制御学	男女の違いを調べて、要点をノートにまとめて予習をする。講義全体を通じて作成したノートを見返して、復習する。(2時間)	中腎管、中腎傍管

教育グランドデザインとの関連: 2、3、4、5

学位授与の方針との関連: 1、2、3

授業のレベル: 2

評価: レポート100%

実務経験との関連: 無し

教科書: 入門人体解剖学 改訂第5版 藤田 恒夫 南江堂

参考書: ラングマン 人体発生学 第10版 安田 峯生 訳 メディカル・サイエンス・インターナショナル

公衆衛生看護学 I

到達目標: 公衆衛生看護活動の理念、歴史的変遷、活動方法の概要を理解する

科目責任者(所属): 松浦治代(地域・精神看護学講座)

連絡先: 松浦 bmharu9@tottori-u.ac.jp

回数	月日	時限	講義室	対面可 授業方法	対面不可 授業方法	授業内容	担当者	講座・ 分野・診療科	予習・復習内容	授業のキーワード
1	12/7(木)	2	111	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	公衆衛生看護の理念と目的	松浦 治代	地域・精神看護学	予習: 1. テキスト第1章、第1節公衆衛生看護学の概念の項を読む。図書館、インターネット等から公衆衛生看護活動、保健師活動をキーワードに活動の実際を調べる。保健師の活動の場、活動内容を書き覚えてメモしておく。	ヘルスプロモーション、公衆衛生看護の概念
2	12/14(木)	2	111	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	公衆衛生看護活動の概要	金田 由紀子	地域・精神看護学	予習: テキスト第1章、第2節ヘルスプロモーションの項を読み、キーワードをメモしておく。	公衆衛生看護活動の実際、保健師の活動
3	12/21(木)	2	111	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	健康・地域保健の概念変遷と公衆衛生看護活動の関連	金田 由紀子	地域・精神看護学	予習: 第3節公衆衛生看護の歴史の項を読み、メモしておく。インターネット、図書館の資料から、昭和20年代頃までの保健師活動の実際について記載された雑誌、書籍を読み、活動の特徴をノートにまとめる	保健師活動の歴史、現在の保健師活動
4	1/11(木)	1	111	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	市町村等で活躍する先輩保健師から公衆衛生看護活動の実際	中根 翔子	地域・精神看護学	予習: 中根保健師への質問を考える。 復習(レポート): 講義を聞いての感想をまとめる。	先輩保健師への質問、市町村保健師業務
5	1/11(木)	2	111	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	公衆衛生看護活動を展開するために有用なモデルの概要	松浦 治代	地域・精神看護学	予習: テキスト第2章1項地域診断の項、地域診断の概念、地域診断に用いられるモデルの項を読み、キーワード、疑問点をメモする。	プリシードプロシードモデル、コミュニティアズパートナーモデル
6	1/18(木)	2	111	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	公衆衛生看護活動展開の基本となる地域診断	松浦 治代	地域・精神看護学	予習: テキスト第2章1項地域診断の項、情報収集、分析の項を読み、疑問点をメモする。	地域診断の方法、プロセス、情報収集(アセスメント)、分析、目標設定、計画立案、評価
7	1/25(木)	2	111	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	公衆衛生看護活動の方法: 集団健診、健康相談、健康教育、	金田 由紀子	地域・精神看護学	予習: テキスト第3章 II 健康相談、III 健康教育、IV 健康診査、V グループ支援の項を読み、キーワード、疑問点をメモする。	検診等事業の実際、行動変容モデル・理論、健康相談、健康教育
8	1/25(木)	5	111	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	公衆衛生看護活動の方法: 家庭訪問、地区組織活動	松浦 治代	地域・精神看護学	予習: テキスト第3章 I 家庭訪問の項を読み、キーワード、疑問点をメモする。 復習: 訪問看護と保健師の実施する家庭訪問の違いについて考える。	家庭訪問、地区組織活動、エンパワメント

教育ブランドデザインとの関連: 1.2

学位授与の方針との関連: 1

授業のレベル: 2

評価: 総合的理解力を期末試験で評価する。

実務経験との関連: 有

教科書: 公衆衛生看護学.Jp 第5版 インターメディカル、2020

参考書: 国民衛生の動向

その他:

看護実践過程基盤演習

- 到達目標: 対象に価値ある変化をもたらすための健康課題解決過程の基本的な考え方を理解できる。
- 1) 看護の対象となる人(個人)の理解、方向性の明確化、観察、健康課題の判断、看護行為の実施、評価の過程を説明できる。
 - 2) 看護の対象となる人をとりまく環境について理解を深め、必要な支援について説明できる。

科目責任者(所属): 藤原由記子(基礎看護学)・深田美香(基礎看護学)

連絡先: 学務課教務係 me-kyoumu@ml.adm.tottori-u.ac.jp

回数	月日	時限	講義室	対面 授業方法	対面不可 授業方法	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	予習・復習内容	授業のキーワード
1	10/6(金)	3	111	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	オリエンテーション 健康課題解決能力について	藤原 由記子	基礎看護学	ナイチンゲールの対象論、目的論、方法論について復習する。ヘンダーソンの理論について学習する(60分)	看護技術、援助的対人関係形成過程、看護理論
2	10/13(金)	3	111	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	青年期の健康生活 発達課題について	藤原 由記子	基礎看護学	発達課題論エリクソンについて学習する(45分)	援助的対人関係、健康の定義、発達課題論:エリクソンについて
3	10/20(金)	3	111	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	事例 大山花子の長男(22歳 左前腕尺骨骨折)の全体像について 状況: サッカー中に、転倒し左腕を骨折した。人にぶつかり転倒した際、頭部を含み全身を打撲していることから、2~3日の検査入院となった。	藤原 由記子	基礎看護学	左前腕尺骨骨折について病態生理、診断や治療方法、合併症、骨折をした人の看護について学習する(60分)	対象者の理解 対象の目指す方向性
4	10/27(金)	3	111	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	看護を目的とした対象者にとって必要な観察の視点について	藤原 由記子	基礎看護学	情報をもとにヘンダーソンの理論を活用してアセスメントを行う。関連図を作成し活用する。(60分)	健康障害の種類、健康段階 生活過程、生活の場、価値観
5	10/31(火)	2	湖山(C51)	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	健康障害のある対象者の理解	藤原 由記子	基礎看護学	情報をもとにヘンダーソンの理論を活用してアセスメントを行う。関連図を作成し活用する。(60分)	生活過程、生活の場などへの影響
6		3		対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	観察を基にした看護理論の活用	藤原 由記子	基礎看護学	健康課題を明確にし、健康課題に沿った期待される結果を表現する。(60分)	ヘンダーソン、看護の基本、観察結果の論理的推考、看護上の課題(問題)、原因、関連要因、関連図
7	11/17(金)	3	111	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	方向性の明確化	藤原 由記子	基礎看護学	目標達成の評価を行うための指標を明らかにする。(60分)	対象の目指す方向性、対象者理解に基づいた個性
8	12/1(金)	2	湖山(C51)	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	健康課題の判断	藤原 由記子	基礎看護学	健康課題に対して必要な援助を立案する。(60分)	健康課題、対象者理解に基づいて個性、看護上の課題(問題)の原因や関連要因
9	12/15(金)	1	111	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	援助方法の計画立案	藤原 由記子	基礎看護学	対象者に応じた具体的な看護行為を考える。(45分)	援助方法、対象者理解に基づいた個性
10		2	111	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	援助方法の計画立案	藤原 由記子	基礎看護学	目標が達成できたか、目標達成に影響した要因を明らかにする。(60分)	プロセスレコード、内省、他者理解
11	1/10(水)	2	111	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	看護の対象となる人(個人)の理解	高間 さとみ	地域・精神看護学	統合された全体的存在について文章で表現する。(45分)	環境、社会資源
12	1/19(金)	3	111	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	看護の対象となる人(集団)やまちの理解	高間 さとみ	地域・精神看護学	対象者を取り巻く社会資源について学習する。(30分)	課題(問題)のとらえ方、効果的援助の検討、多職種連携
13	1/26(金)	3	111	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	看護行為の実施と評価、価値ある変化	藤原 由記子	基礎看護学	実施した看護行為が対象者にとってどのような影響を及ぼしたのかを評価する。(60分)	看護行為を評価する意義、看護技術の提供、目標達成度、課題(問題)解決過程の評価
14	2/1(木)	4	湖山(E53)	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	看護の方向性の評価	藤原 由記子	基礎看護学	目標が達成できたか、目標達成に影響した要因を明らかにする。(60分)	看護の主体は対象者、対象者と健康課題や目標を共有しつつ、評価を行う
15		5		対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	まとめ 価値ある変化をもたらす看護に必要なこと	藤原 由記子	基礎看護学	対象者が目指す方向に向かっていくかを評価する。(60分)	対象者の理解、課題(問題)解決過程、援助的対人関係形成過程

教育グランドデザインとの関連: 1,2,3,4,5,6,7

学位授与の方針との関連: 1,2,3,4

授業のレベル: 2

評価: 課題60% レポート40%

実務経験との関連: 看護師(保健師)の業務に携わった経緯のある教員が、その経験を活かし、講義・演習を行う

教科書: 基礎看護学、生活援助論演習 I の教科書

- 参考書:
1. 看護学基礎テキスト第1巻 看護学の概念と理論的基盤、日本看護協会出版会、野嶋佐由美編、2012年
 2. 看護学基礎テキスト第2巻 看護の対象、日本看護協会出版会、小山真理子編、2012年
 3. 看護の基本となるもの、日本看護協会出版会、ヴァージニア・ヘンダーソン著、湯横ます・小玉香津子訳、2011年
 4. ヘンダーソンの看護観に基づく看護過程、日総研、焼山和憲、2013年
 5. 看護論と看護過程の展開、照林社、金子道子編著、2002年
 6. 看護場面の再構成、宮本真巳、日本看護協会出版会、2015年

生活援助論演習 I

科目到達目標:看護基本技術の基盤的知識・技術を修得する。バイタルサインの観察技術、基本的ニーズを充足する日常生活援助について、看護援助を行う上で留意すべき、看護の基本的機能を意識し、思考しながらケアする技術を身につける。さらに、看護の基本的機能の観点と看護援助の思考プロセスから行為の意味を考察する。

1. 看護の基本的機能(環境調整、コミュニケーション、ボディメカニクス、倫理、安全・安楽)を踏まえて、基礎的な日常生活援助技術が実施できる。
2. 看護援助の思考プロセスを活用し、根拠にもとづいて日常生活援助を考えることができる。
3. 看護の基本的機能の観点と看護援助の思考プロセスから、日常生活援助における行為の意味について考えることができる。

科目責任者(所属教室):宮本 まゆみ(基礎看護学) 山本 陽子(基礎看護学)

連絡先:教員室 TEL:0859-38-6309 E-mail:y.yamamoto-0707@tottori-u.ac.jp

回数	月日	時限	講義室	対面可 授業方法	対面不可 授業方法	授業内容	担当者	講座・ 分野・診療科	予習・復習内容	授業のキーワード
1	10/5 (木)	3	111	対面	パターン3遠隔 (リアルタイム学習)	科目オリエンテーション 看護の基本的機能、看護援助の思考プロセス	深田 美香 宮本 まゆみ 笠城 典子 藤原 由記子 山本 陽子 非常勤講師 上灘 紳子 非常勤講師 和田 崇	基礎看護学	当該授業部分の教科書を熟読する。講義後も当日のポイントをノート等にまとめ、講義内容の理解を深める。(1.0時間)	看護の基本的機能(環境整備、コミュニケーション、ボディメカニクス、倫理、安全・安楽)
2	10/12 (木)	3	111 基礎看護学 実習室	対面	パターン3遠隔 (リアルタイム学習)	感染予防を推進する技術 感染症を成立させる要素と成立過程 手指衛生・個人防護具の着脱			当該授業部分の教科書を読み、動画で手指衛生、個人防護具着脱の手順を確認する。演習後も当日のポイントを再確認し、技術の習得に励む。(2.0時間)	感染成立の要素、感染経路、感染予防策、手指衛生(流水による手洗い・擦式消毒)、個人防護具の着脱方法
3		4							当該授業部分の教科書を熟読し、動画でベッドメイキングの手順を確認する。演習後も当日のポイントを再確認し、技術の習得に励む。(2.0時間)	環境の諸要素、病室・病床の環境調整、ベッドメイキング
4	10/19 (木)	3	111 基礎看護学 実習室	対面	パターン3遠隔 (リアルタイム学習)	快適な環境をつくる技術 病室と病床の環境整備 ベッドメイキング			当該授業部分の教科書を熟読し、動画でボディメカニクスを活用した体位変換の手順を確認する。演習後も当日のポイントを再確認し、技術の習得に励む。(2.0時間)	ボディメカニクスの原則、力学作用(トルク、作用・反作用、摩擦力)、寝返り・起き上がり、起立・着座動作
5		4							当該授業部分の教科書を熟読し、仰臥位・側臥位・フェラータ位のポジションを確認する。演習後も当日のポイントをノート等にまとめ、演習内容の理解を深める。(2.0時間)	体位の種類と身体的影響、同一体位による弊害、生理的彎曲、体圧分散、良肢位、安楽な体位の保持(仰臥位、側臥位、フェラータ位)
6	11/9 (木)	3	111 基礎看護学 実習室	対面	パターン3遠隔 (リアルタイム学習)	医療従事者の安全 ボディメカニクスの原則 ボディメカニクスを活用した体位変換			当該授業部分の教科書を熟読し、経口摂取の基本的留意点について、看護の基本的機能を踏まえて具体的な行為を考える。演習での経験を振り返り、改善点を課題用紙に整理する。(2.0時間)	食事に関する生理的メカニズム、栄養状態のアセスメント、経口摂取法、看護の基本的機能
7		4							当該授業部分の教科書を熟読し、床上排泄の基本的留意点について、看護の基本的機能を踏まえて具体的な行為を考える。演習での経験を振り返り、改善点を課題用紙に整理する。(2.0時間)	排尿・排便の生理的メカニズム、排尿・排便のニーズのアセスメント、排尿・排便障害の種類、床上排泄(尿器・便器)、看護の基本的機能
8	11/16 (木)	3	111 基礎看護学 実習室	対面	パターン3遠隔 (リアルタイム学習)	効率的で安楽な動きをつくり出す技術 安楽な体位の保持			当該授業部分の教科書を熟読し、車椅子/ストレッチャー移乗・移送の基本的留意点について、看護の基本的機能を踏まえて具体的な行為を考える。演習での経験を振り返り、改善点を課題用紙に整理する。(3.0時間)	活動・運動の生理的メカニズム、活動・運動ニーズのアセスメント、車椅子・ストレッチャー、ボディメカニクス、移乗・移送、看護の基本的機能
9		4							当該授業部分の教科書を熟読し、車椅子/ストレッチャー移乗・移送の基本的留意点について、看護の基本的機能を踏まえて具体的な行為を考える。演習での経験を振り返り、改善点を課題用紙に整理する。(3.0時間)	活動・運動の生理的メカニズム、活動・運動ニーズのアセスメント、車椅子・ストレッチャー、ボディメカニクス、移乗・移送、看護の基本的機能
10	11/29 (水)	3	湖山 (D42)	対面	パターン3遠隔 (リアルタイム学習)	食事・栄養摂取を促す技術 経口摂取 基本的留意点			当該授業部分の教科書を熟読し、経口摂取の基本的留意点について、看護の基本的機能を踏まえて具体的な行為を考える。演習での経験を振り返り、改善点を課題用紙に整理する。(2.0時間)	食事に関する生理的メカニズム、栄養状態のアセスメント、経口摂取法、看護の基本的機能
11		4							当該授業部分の教科書を熟読し、床上排泄の基本的留意点について、看護の基本的機能を踏まえて具体的な行為を考える。演習での経験を振り返り、改善点を課題用紙に整理する。(2.0時間)	排尿・排便の生理的メカニズム、排尿・排便のニーズのアセスメント、排尿・排便障害の種類、床上排泄(尿器・便器)、看護の基本的機能
12	12/7 (木)	3	111 基礎看護学 実習室	対面	パターン3遠隔 (リアルタイム学習)	排泄を促す技術 床上排泄 基本的留意点			当該授業部分の教科書を熟読し、車椅子/ストレッチャー移乗・移送の基本的留意点について、看護の基本的機能を踏まえて具体的な行為を考える。演習での経験を振り返り、改善点を課題用紙に整理する。(3.0時間)	活動・運動の生理的メカニズム、活動・運動ニーズのアセスメント、車椅子・ストレッチャー、ボディメカニクス、移乗・移送、看護の基本的機能
13		4							当該授業部分の教科書を熟読し、車椅子/ストレッチャー移乗・移送の基本的留意点について、看護の基本的機能を踏まえて具体的な行為を考える。演習での経験を振り返り、改善点を課題用紙に整理する。(3.0時間)	活動・運動の生理的メカニズム、活動・運動ニーズのアセスメント、車椅子・ストレッチャー、ボディメカニクス、移乗・移送、看護の基本的機能
14	12/14 (木)	3	基礎看護学 実習室	対面	パターン3遠隔 (リアルタイム学習)	活動・運動を支援する技術 車椅子/ストレッチャー 移乗・移送 基本的留意点			当該授業部分の教科書を熟読し、車椅子/ストレッチャー移乗・移送の基本的留意点について、看護の基本的機能を踏まえて具体的な行為を考える。演習での経験を振り返り、改善点を課題用紙に整理する。(3.0時間)	活動・運動の生理的メカニズム、活動・運動ニーズのアセスメント、車椅子・ストレッチャー、ボディメカニクス、移乗・移送、看護の基本的機能
15		4	成人・老人 看護学実習 室						当該授業部分の教科書を熟読し、車椅子/ストレッチャー移乗・移送の基本的留意点について、看護の基本的機能を踏まえて具体的な行為を考える。演習での経験を振り返り、改善点を課題用紙に整理する。(3.0時間)	活動・運動の生理的メカニズム、活動・運動ニーズのアセスメント、車椅子・ストレッチャー、ボディメカニクス、移乗・移送、看護の基本的機能
16		5	当該授業部分の教科書を熟読し、車椅子/ストレッチャー移乗・移送の基本的留意点について、看護の基本的機能を踏まえて具体的な行為を考える。演習での経験を振り返り、改善点を課題用紙に整理する。(3.0時間)						活動・運動の生理的メカニズム、活動・運動ニーズのアセスメント、車椅子・ストレッチャー、ボディメカニクス、移乗・移送、看護の基本的機能	

回数	月日	時限	講義室	対面可 授業方法	対面不可 授業方法	授業内容	担当者	講座・ 分野・診療科	予習・復習内容	授業のキーワード								
17	12/15 (金)	3	111	対面	パターン3遠隔 (リアルタイム学習)	活動・運動を支援する技術 車椅子/ストレッチャー 移乗・移送 事例を用いた援助	深田 美香 宮本 まゆみ 笠城 典子 藤原 由記子 山本 陽子 非常勤講師 上灘 紳子 非常勤講師 和田 崇	基礎看護学	提示した事例について、情報の分析・解釈をもとに必要な援助を判断し、看護の基本的機能を踏まえて具体的行為を考える。演習での経験を振り返り、行為の意味を考察する。(2.0時間)	活動・運動の生理的メカニズム、活動・運動ニーズのアセスメント、車椅子・ストレッチャー、ボディメカニクス、移乗・移送、看護援助の思考プロセス、看護の基本的機能								
18		4																
19	12/21 (木)	3	基礎看護学 実習室	対面	パターン3遠隔 (リアルタイム学習)	身体の清潔を援助する技術 部分浴(足浴) 基本的留意点			深田 美香 宮本 まゆみ 笠城 典子 藤原 由記子 山本 陽子 非常勤講師 上灘 紳子 非常勤講師 和田 崇	基礎看護学	当該授業部分の教科書を熟読し、足浴の基本的留意点について、看護の基本的機能を踏まえて具体的行為を考える。演習での経験を振り返り、改善点を課題用紙に整理する。(2.0時間)	皮膚・粘膜のメカニズム、清潔行為とその影響、清潔のニーズ、清潔のセルフケアに影響を与える要因、身体各部のアセスメント、足浴、看護の基本的機能						
20		4																
21	1/11 (木)	3	基礎看護学 実習室	対面	パターン3遠隔 (リアルタイム学習)	身体の清潔を援助する技術 洗髪 基本的留意点					深田 美香 宮本 まゆみ 笠城 典子 藤原 由記子 山本 陽子 非常勤講師 上灘 紳子 非常勤講師 和田 崇	基礎看護学	当該授業部分の教科書を熟読し、洗髪の基本的留意点について、看護の基本的機能を踏まえて具体的行為を考える。演習での経験を振り返り、改善点を課題用紙に整理する。(2.0時間)	皮膚・粘膜のメカニズム、清潔行為とその影響、清潔のニーズ、清潔のセルフケアに影響を与える要因、身体各部のアセスメント、洗髪、看護の基本的機能				
22		4																
23	1/18 (木)	3	基礎看護学 実習室	対面	パターン3遠隔 (リアルタイム学習)	身体の清潔を援助する技術 清拭 基本的留意点							深田 美香 宮本 まゆみ 笠城 典子 藤原 由記子 山本 陽子 非常勤講師 上灘 紳子 非常勤講師 和田 崇	基礎看護学	当該授業部分の教科書を熟読し、清拭の基本的留意点について、看護の基本的機能を踏まえて具体的行為を考える。演習での経験を振り返り、改善点を課題用紙に整理する。(2.0時間)	皮膚・粘膜のメカニズム、清潔行為とその影響、清潔のニーズ、清潔のセルフケアに影響を与える要因、身体各部のアセスメント、清拭、看護の基本的機能		
24		4																
25	1/19 (金)	1	基礎看護学 実習室	対面	パターン3遠隔 (リアルタイム学習)	身体の清潔を援助する技術 寝衣交換 基本的留意点									深田 美香 宮本 まゆみ 笠城 典子 藤原 由記子 山本 陽子 非常勤講師 上灘 紳子 非常勤講師 和田 崇	基礎看護学	当該授業部分の教科書を熟読し、寝衣交換の基本的留意点について、看護の基本的機能を踏まえて具体的行為を考える。演習での経験を振り返り、改善点を課題用紙に整理する。(2.0時間)	皮膚・粘膜のメカニズム、清潔行為とその影響、清潔のニーズ、清潔のセルフケアに影響を与える要因、身体各部のアセスメント、寝衣交換、看護の基本的機能
26		2																
27	1/25 (木)	3	基礎看護学 実習室	対面	パターン3遠隔 (リアルタイム学習)	身体的側面のアセスメント バイタルサイン 体温/脈拍の観察・測定 基本的留意点	深田 美香 宮本 まゆみ 笠城 典子 藤原 由記子 山本 陽子 非常勤講師 上灘 紳子 非常勤講師 和田 崇	基礎看護学									当該授業部分の教科書を熟読し、体温/脈拍の観察・測定の手順を確認しておく。演習後も当日のポイントを確認し、技術習得に励む。(1.0時間)	ヘルスアセスメント、フィジカルアセスメント、バイタルサイン、呼吸/脈拍/血圧/体温の調節メカニズムと影響因子、体温/脈拍の観察・測定法
28		4																
29	1/26 (金)	1	基礎看護学 実習室	対面	パターン3遠隔 (リアルタイム学習)	身体的側面のアセスメント 呼吸/血圧の観察・測定 基本的留意点			深田 美香 宮本 まゆみ 笠城 典子 藤原 由記子 山本 陽子 非常勤講師 上灘 紳子 非常勤講師 和田 崇	基礎看護学							当該授業部分の教科書を熟読し、呼吸/血圧の観察・測定の手順を確認しておく。演習後も当日のポイントを確認し、技術習得に励む。(2.0時間)	呼吸/血圧の観察・測定法
30		2																

教育グランドデザインとの関連: 2, 3, 4, 5, 6, 7

学位授与の方針との関連: 1, 2, 3, 4

授業のレベル: 1

評価: 定期試験50%、課題・振り返りシート50%

実務経験との関連: 病院現場における看護実践の経験がある教員、現役の看護師、理学療法士が、各自の経験を活かして、各自の専門分野に関する指導をする。

教科書: ナーシング・グラフィカ 基礎看護学② 基礎看護技術 I コミュニケーション/看護の展開/ヘルスアセスメント, メディカ出版

ナーシング・グラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術 II 看護実践のための援助技術, メディカ出版

参考書: 写真でわかる 基礎看護技術 アドバンス, インターメディカ

写真でわかる 看護のためのフィジカルアセスメント アドバンス, インターメディカ

健康生活支援実習

到達目標:看護の対象としての人(生活者、対象者)とその人の生活観、健康観について理解を深める。対象者の生活観(生活するうえで大切にしていること)、対象者の健康観(健康についての価値観)を知る。

さらに、対象者の生活観や健康観に影響を及ぼす要因(出来事や体験、環境など)を知り、それらの関係性を考えることができる。

1. 看護の対象としての個々人の生活観(生活するうえで大切にしていること)を知る。
2. 看護の対象としての個々人の健康観(健康についての価値観)を知る。
3. 看護の対象としての個々人の生活の場(生活環境)を知る。
4. 生活観、健康観に影響を及ぼす要因(出来事や体験、環境等)を知り、それらの関係性を考えることができる。
5. 看護の対象としての人を、発達段階、身体的・心理的・社会的視点から捉えることができる。

科目責任者(所属):深田美香(基礎看護学)

連絡先:教員室TEL:0859-38-6306 E-mail:mikafkd@tottori-u.ac.jp

回数	月日	時限	講義室	対面可 授業方法	対面不可 授業方法	授業内容	担当者	講座・ 分野・診療科	予習・復習内容	授業のキーワード				
1	10/6(金)	1	111、ATU1・2・5~10	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	実習オリエンテーション	深田 美香 宮本 まゆみ 笠城 典子 藤原 由記子 山本 陽子 中條 雅美 長谷川 慶幸 金山 俊介 服部 多恵 安部 由紀	基礎看護学	実習要項を熟読し、実習目標、実習内容、実習方法を理解する。	生活観、健康観、生活の場(生活環境)、生活観や健康観への影響要因、対象理解				
2	10/6(金)	2	111、ATU1・2・5~10	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)									
3	10/13(金)	1	111、ATU1・2・5~10	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	看護部オリエンテーション グループ別オリエンテーション			基礎看護学	実習要項を熟読し、実習目標、実習内容、実習方法を理解する。 附属病院と看護部の概要を理解する。	生活観、健康観、生活の場(生活環境)、生活観や健康観への影響要因、対象理解 鳥取大学医学部付属病院の役割と機能 看護部の紹介			
4	10/13(金)	2	111、ATU1・2・5~10	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)									
5	10/20(金)	1	111、ATU1・2・5~10	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	病棟オリエンテーション				基礎看護学	実習要項を熟読し、実習目標、実習内容、実習方法を理解する。 実習病棟の概要を理解する。	生活観、健康観、生活の場(生活環境)、生活観や健康観への影響要因、対象理解 実習病棟の紹介		
6	10/20(金)	2	111、ATU1・2・5~10	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)									
7	10/26(木)	3	111、ATU3・4・8~10、 セミナールーム1・2	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	入院して療養生活を送っている人の健康観・生活観とそれに影響する要因 対象理解～発達段階、身体的・心理的・社会的視点					成人・老人看護学	実習経験を振り返り、看護の対象としての人(生活者、対象者)とその人の生活観、健康観について理解を深める。対象者の生活観や健康観に影響を及ぼす要因(出来事や体験、環境など)を知り、それらの関係性を考え実習記録に整理する。	生活観、健康観、生活の場(生活環境)、生活観や健康観への影響要因、対象理解	
8	10/26(木)	4	111、ATU3・4・8~10、 セミナールーム1・2	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)						母性・小児家族看護学			
9	10/27(金)	1	111、ATU1・2・5~10	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	入院して療養生活を送っている人の健康観・生活観とそれに影響する要因 対象理解～発達段階、身体的・心理的・社会的視点					地域・精神看護学	実習経験を振り返り、看護の対象としての人(生活者、対象者)とその人の生活観、健康観について理解を深める。対象者の生活観や健康観に影響を及ぼす要因(出来事や体験、環境など)を知り、それらの関係性を考え実習記録に整理する。	生活観、健康観、生活の場(生活環境)、生活観や健康観への影響要因、対象理解	
10	10/27(金)	2	111、ATU1・2・5~10	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)									
11*	10/31(火)	1	-	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	家で生活しながら病気治療をしている人の健康観・生活観とそれに影響する要因 入院して療養生活を送っている人の健康観・生活観とそれに影響する要因						地域・精神看護学	実習経験を振り返り、看護の対象としての人(生活者、対象者)とその人の生活観、健康観について理解を深める。対象者の生活観や健康観に影響を及ぼす要因(出来事や体験、環境など)を知り、それらの関係性を考え実習記録に整理する。	生活観、健康観、生活の場(生活環境)、生活観や健康観への影響要因、対象理解
12*	11/2(木)	3	-	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)									

回数	月日	時限	講義室	対面可 授業方法	対面不可 授業方法	授業内容	担当者	講座・ 分野・診療科	予習・復習内容	授業のキーワード
13	11/10(金)	1	111、ATU1・2・5~10	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	家で生活しながら病気治療をしている人の健康観・生活観とそれに影響する要因 入院して療養生活を送っている人の健康観・生活観とそれに影響する要因(学外実習)			実習経験を振り返り、看護の対象としての(生活者、対象者)とその人の生活観、健康観について理解を深める。対象者の生活観や健康観に影響を及ぼす要因(出来事や体験、環境など)を知り、それらの関係性を考え実習記録に整理する。	生活観、健康観、生活の場(生活環境)、生活観や健康観への影響要因、対象理解
14	11/10(金)	2	111、ATU1・2・5~10	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)					
15	11/10(金)	3	111、ATU1・2・5~10	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)					
16	11/17(金)	1	111、ATU1・2・5~10	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	入院して療養生活を送っている人の健康観・生活観とそれに影響する要因 対象理解～発達段階、身体的・心理的・社会的視点			実習経験を振り返り、看護の対象としての(生活者、対象者)とその人の生活観、健康観について理解を深める。対象者の生活観や健康観に影響を及ぼす要因(出来事や体験、環境など)を知り、それらの関係性を考え実習記録に整理する。	生活観、健康観、生活の場(生活環境)、生活観や健康観への影響要因、対象理解
17	11/17(金)	2	111、ATU1・2・5~10	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)					
18	12/8(金)	1	111、ATU1・2・5~10	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	健康観・生活観とそれに影響する要因 対象理解～発達段階、身体的・心理的・社会的視点 カンファレンス	深田 美香 宮本 まゆみ 笠城 典子 藤原 由記子 山本 陽子	基礎看護学	実習経験を振り返り、看護の対象としての(生活者、対象者)とその人の生活観、健康観について理解を深める。対象者の生活観や健康観に影響を及ぼす要因(出来事や体験、環境など)を知り、それらの関係性を考え実習記録に整理する。	生活観、健康観、生活の場(生活環境)、生活観や健康観への影響要因、対象理解
19	12/8(金)	2	111、ATU1・2・5~10	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)					
20	12/22(金)	1	111、ATU1・2・5~10	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	入院して療養生活を送っている人の健康観・生活観とそれに影響する要因 対象理解～発達段階、身体的・心理的・社会的視点	金山 俊介 服部 多恵	母性・小児家族看護学	実習経験を振り返り、看護の対象としての(生活者、対象者)とその人の生活観、健康観について理解を深める。対象者の生活観や健康観に影響を及ぼす要因(出来事や体験、環境など)を知り、それらの関係性を考え実習記録に整理する。	生活観、健康観、生活の場(生活環境)、生活観や健康観への影響要因、対象理解
21	12/22(金)	2	111、ATU1・2・5~10	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)					
22	12/22(金)	3	111、ATU1・2・5~10	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	対象理解～発達段階、身体的・心理的・社会的視点 カンファレンス			実習経験を振り返り、看護の対象としての(生活者、対象者)とその人の生活観、健康観について理解を深める。対象者の生活観や健康観に影響を及ぼす要因(出来事や体験、環境など)を知り、それらの関係性を考え実習記録に整理する。	生活観、健康観、生活の場(生活環境)、生活観や健康観への影響要因、対象理解
23	12/22(金)	4	111、ATU1・2・5~10	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)					
24	12/26(火)	3	湖山(E53)	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	学習内容の共有 まとめ			実習を通して学んだことを整理し、レポートにまとめる。	生活観、健康観、生活の場(生活環境)、生活観や健康観への影響要因、対象理解
25	12/26(火)	4	湖山(E53)	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)					

教育ランドデザインとの関連: 1, 2, 4

学位授与の方針との関連: 1, 3, 4

授業のレベル: 1

評価: 実習目標の達成度について、実習内容(実習記録、カンファレンス、レポートを含む)により評価する。

実務経験との関連: 看護実践に携わった経験をもつ教員が実習を指導する

教科書: 基礎看護学、生活援助論演習の教科書

参考書: 適宜紹介する

その他: 看護学生の臨床実習用損害賠償保険に加入しなければ受講できない。

麻疹、風疹、流行性耳下腺炎、水痘の抗体価の確認あるいはワクチン接種が終了していないと受講できない。

* 10月31日(火)、11月2日(木)は各学生が依頼したインタビュー対象者の都合に合わせて、授業時間外に実施する。

研究成果活用法

- 到達目標:
1. 研究論文の全体構成が理解できる。
 2. 文献検索の方法が習得できる。
 3. 看護研究と理論と実践のつながりを理解し、研究への興味・関心をもつことができる。

科目責任者(所属): 宮本 まゆみ(基礎看護学)

連絡先: 教員室 TEL: 0859-38-6303

回数	月日	時限	講義室	対面可 授業方法	対面不可 授業方法	授業内容	担当者	講座・ 分野・診療科	予習・復習内容	授業のキーワード
1	12/1(金)	3	湖山 (D42)	対面	パターン3遠隔 (リアルタイム学習)	看護研究と看護実践とのつながり	宮本 まゆみ 山本 陽子	基礎看護学	資料を読んでおく。講義後も当日のポイントをノート等にまとめ、講義内容の理解を深める。(2.0時間)	看護研究とは、看護実践における看護研究の役割
2		4		対面	パターン3遠隔 (リアルタイム学習)	研究論文の構成要素、研究論文の読み方			前回の講義内容を復習しておく。講義後も当日のポイントをノート等にまとめ、講義内容の理解を深める。(4.0時間)	研究論文の構成要素、研究論文の読み方
3	12/8(金)	3	111	対面	パターン3遠隔 (リアルタイム学習)	文献の検索方法			講義後に検索エンジンを活用して自分の関心のあるテーマの研究論文を検索し、要旨をノート等にまとめる。(4.0時間)	検索エンジンの使い方(医中誌web、CiNii、OPAC 他)
4		4		対面	パターン3遠隔 (リアルタイム学習)	量的な研究論文の抄読			提示した論文を熟読しておく。講義後も当日のポイントをノート等にまとめ、講義内容の理解を深める。(4.0時間)	量的研究、研究論文の構成要素、研究論文の読み方
5	1/10(水)	3	122	対面	パターン3遠隔 (リアルタイム学習)	質的な研究論文の抄読			提示した論文を熟読しておく。講義後も当日のポイントをノート等にまとめ、講義内容の理解を深める。(4.0時間)	質的研究、研究論文の構成要素、研究論文の読み方
6		4		対面	パターン3遠隔 (リアルタイム学習)	生活援助に関連した研究論文の抄読			生活援助に関連した研究論文を抄読し、当該論文の看護への活用について自分なりの考えをまとめる。(4.0時間)	量的研究、質的研究、研究論文の構成要素、研究論文の読み方
7	1/19(金)	4	111	対面	パターン3遠隔 (リアルタイム学習)	生活援助に関連した研究論文の抄読			生活援助に関連した研究論文を抄読し、当該論文の看護への活用について自分なりの考えをまとめる。(4.0時間)	量的研究、質的研究、研究論文の構成要素、研究論文の読み方
8	1/26(金)	4	111	対面	パターン3遠隔 (リアルタイム学習)	科学的根拠に基づく看護実践			看護実践における看護研究の役割についてレポートにまとめ提出する。(4.0時間)	看護実践における看護研究の役割

教育グランドデザインとの関連: 1, 2, 3, 4, 5, 6

学位授与の方針との関連: 1, 2, 3, 4

授業のレベル: 1

評価: レポート100% レポートの評価基準は別途説明する。

実務経験との関連: 臨床経験および看護分野の研究業績がある教員の経験を活かして指導をする。

教科書: 随時、授業内容に関連する資料および研究論文を配布する。

特別講義 I

- 到達目標:
1. 看護職とは、看護の対象とは何かについて理解できる。
 2. 看護(職・学)の専門性、役割と活動を理解できる。
 3. 学生自身の看護観を構築する基盤を養うことができる。

科目責任者(所属): 三好 陽子(成人・老人看護学)

連絡先: 202教員室 TEL:0859-38-6312 mail:miyoc.45@tottori-u.ac.jp

回数	月日	時限	講義室	対面可 授業方法	対面不可 授業方法	授業内容	担当者	講座・ 分野・診療科	予習・復習内容	授業のキーワード
1	10/12(木)	5	111	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	ガイダンス 本科目での学び方 看護職とは、看護の対象とは何か 看護師の役割と活動の実際; 医療現場で活躍する先輩に聞く	三好 陽子 長谷川 理恵	成人・老人看護学 看護部 非常勤講師	到達目標達成に必要な予習・復習課題をeラーニングシステムmanabaに提示する	看護、看護の対象、看護師
2	10/19(木)	5	111	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	保健師の役割と活動の実際; 地域で活躍する先輩に聞く	林 香奈恵	非常勤講師	到達目標達成に必要な予習・復習課題をeラーニングシステムmanabaに提示する	保健師
3	10/26(木)	5	111	対面 (遠隔)	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	助産師の役割と活動の実際; 医療現場で活躍する先輩に聞く 専門看護師の役割と活動の実際; 医療現場で活躍する先輩に聞く	千葉 貴子	非常勤講師	到達目標達成に必要な予習・復習課題をeラーニングシステムmanabaに提示する	助産師、母性看護専門看護師
4	11/9(木)	5	111	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	訪問看護師の役割と活動の実際; 地域で活躍する先輩に聞く	神田 典枝	非常勤講師	到達目標達成に必要な予習・復習課題をeラーニングシステムmanabaに提示する	訪問看護師
5	11/16(木)	5	111	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	認定看護師の役割と活動の実際; 医療現場で活躍する先輩に聞く①	吉野 早苗	看護部 非常勤講師	到達目標達成に必要な予習・復習課題をeラーニングシステムmanabaに提示する	救急看護認定看護師
6	12/7(木)	5	111	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	認定看護師の役割と活動の実際; 医療現場で活躍する先輩に聞く②	中村 広大	看護部 非常勤講師	到達目標達成に必要な予習・復習課題をeラーニングシステムmanabaに提示する	感染管理認定看護師
7	12/21(木)	5	111	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	大学院生の研究活動の実際; 実務しながら研究活動	湊 恵	看護部 非常勤講師	到達目標達成に必要な予習・復習課題をeラーニングシステムmanabaに提示する	大学院生、研究、論文
8	1/10(水)	5	111	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	まとめ 私の看護観	三好 陽子	成人・老人看護学	到達目標達成に必要な予習・復習課題をeラーニングシステムmanabaに提示する	看護学生、看護観

教育グランドデザインとの関連: 1、2、5、7

学位授与の方針との関連: 2、3

授業レベル: 2

評価: 出席時間数5分の4以上を前提に、課題レポート100%

実務経験との関連: 看護の臨床経験を持つ教員とジェネラリスト、スペシャリストが連携し、様々な看護(職・学)の役割と活動の実際を学ぶことができるよう講義する

指定教科書: なし

参考書: 適宜提示する

その他: 連絡事項・課題等は、eラーニングシステムmanabaを参照すること